

(別添3)

【埼玉県三郷市】校務DX計画

1. 1人1台端末（指導者用）の整備について

- ・令和5、6年度に校務用PCの更新及び指導者用タブレット端末を導入し、1人1台端末（指導者用）の整備を完了した。

2. ネットワーク環境について

- ・校務系ネットワークにおいて、令和6年度、二要素認証（顔認証・パスワード）を導入した。また、市の情報政策部門と協力し、市内の公共施設等と同じWAN回線を利用することで、高いセキュリティ対策と安定したネットワーク環境を構築している。
- ・学習系ネットワークにおいては、令和4年度にネットワークアセスメントを実施した。令和5年度、文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、市内全校のネットワーク環境の改善を実施している。

3. 校務のデジタル化について

- ・統合型校務支援システム、グループウェア機能の他、共有サーバを使用している。これらのシステムを活用して、市教育委員会と学校、教育相談室と学校、学校間で連絡・文書や資料配布を行っている。また、教職員一人一人にメールアドレスを付与し、外部との連絡に活用している。
- ・保護者連絡アプリを導入し、市教育委員会及び学校から保護者への連絡・文書配布をデジタル化している。また、出欠席の連絡も校務支援システムと連動させている。
- ・市内小中学校にAI機能搭載のデジタルドリル（自動採点）を導入し、児童・生徒一人一人の習熟度・学習進度に応じて、学習に取り組めるようにしている。
- ・市内全中学校に採点支援システムを導入し、定期テスト等の採点業務をデジタル化することで、教職員が子供たちに向き合う時間の確保、業務改善に寄与している。

4. ペーパーレス化について

- ・市教育委員会から学校への連絡・文書配布は、従来からグループウェア機能、サーバ等を活用し、ペーパーレスを推進している。1人1台端末の導入後、さらにクラウドを活用し、各種会議・研修会等の資料もペーパーレス化している。
- ・学校から児童・生徒への連絡、校内の教職員間の情報共有もデジタル化を進め、ペーパーレス化を推進している。令和6年度に、市内統一の保護者連絡アプリを導入したことで、今後さらに保護者への連絡も含めて、デジタル化を推進していく。
- ・市教育委員会、学校双方において、連絡・情報共有・会議資料等のペーパーレス化を一層推進し、FAX・押印の廃止を含め、電子的な校務文書收受等の導入について調査研究していく。